を四捨五入する。

算式Ｖの符号

g　平成７年度から平成11年度までの地方財政状況調査による物件費（市町村調査票性質別経費の表側「2．物件費」、表頭「決算額」欄の数をいう。）、補助費等（市町村調査票性質別経費の表側「5．補助費等」、表頭「決算額」欄の数をいう。）、繰出金（市町村調査票性質別経費の表側「9．繰出金」、表頭「決算額」欄の数をいう。）及び「地方財政状況調査表（市町村・一部事務組合分）」の「一部事務組合負担金等の性質別内訳の状況」の表側「11．投資的経費　うち人件費」、表頭「決算額」欄の数を合算した額から「一部事務組合負担金等の性質別内訳の状況」の表頭「決算額」の表側「4．扶助費」、「6．公債費」、「7．積立金」、「8．投資及び出資金・貸付金」、「10．前年度繰上充用金」及び「11．投資的経費」欄の数の合算額、「地方財政状況調査表（市町村・一部事務組合分）」の「歳出内訳及び財源内訳（その７）」の表側「五　補助費等　2　都道府県に対するもの」、表頭「歳出合計」欄の数並びに「公営企業等に対する繰出し等の状況　その１法非適用事業分」の表側「総計」、表頭「3．建設費繰出」及び「4．公債費財源繰出」欄の数並びに「公営企業等に対する繰出し等の状況　その２法適用事業分」の表側「総計」、表頭「3．建設費繰出」及び「4．公債費財源繰出」欄の数の合算額を控除した額（以下この表において「市町村経常的経費決算額」という。）の合計数を５で除して得た数（整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

h　平成25年度から平成29年度までの地方財政状況調査による市町村経常的経費決算額（復旧・復興事業分を除く。）の合計数を５で除して得た数（整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

F　次の算式Ⅵによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が２を超える場合には２とし、負数となるときは０とする。）

算式Ⅵ

$$F = (j - i) \div \{i \times (-0.304)\}$$

（j － i）／ｉに小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。

算式Ⅵの符号

i　平成12年度から平成16年度までの各年度末の地方債残高（「平成（n ＋ 1）年度地方財政状況調査表（市町村・一部事務組合